

千葉市感染症発生動向調査情報

2024年 第32週 (8/5-8/11) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		定点	32週	31週	30週	29週	*正式名称は インフルエンザ/COVID-19定点
上段: 患者数 下段: 定点当たりの報告数		小児科	16	18	18	18	
		眼科	4	5	5	5	
		*インフル/COVID	23	28	28	28	
「定点当たりの報告数」とは 報告数/報告定点数		基幹	1	1	1	1	

定点	感 染 症 名	千葉 市						千葉県
		注意報	8/5-8/11	7/29-8/4	7/22-7/28	7/15-7/21	7/29-8/4	
			32週	31週	30週	29週	31週	
小児科	RSウイルス感染症		0 0.00	4 0.22	3 0.17	3 0.17	49 0.40	
	咽頭結膜熱		4 0.25	0 0.00	3 0.17	2 0.11	42 0.34	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	34 2.13	46 2.56	26 1.44	23 1.28	396 3.19	
	感染性胃腸炎	↓	56 3.50	71 3.94	90 5.00	83 4.61	482 3.89	
	水痘		1 0.06	0 0.00	1 0.06	0 0.00	22 0.18	
	手足口病	★★★ ↓ ↓	114 7.13	194 10.78	307 17.06	357 19.83	1056 8.52	
	伝染性紅斑		8 0.50	3 0.17	0 0.00	1 0.06	48 0.39	
	突発性発しん		6 0.38	7 0.39	7 0.39	7 0.39	27 0.22	
	ヘルパンギーナ	↓	18 1.13	28 1.56	49 2.72	46 2.56	212 1.71	
	流行性耳下腺炎		1 0.06	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.02	
	* インフル /COV ID	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)		8 0.35	18 0.64	1 0.04	5 0.18	83 0.41
新型コロナウイルス感染症		↓ ↓	115 5.00	190 6.79	260 9.29	232 8.29	2,744 13.65	
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.03	
	流行性角結膜炎		0 0.00	1 0.20	3 0.60	2 0.40	21 0.60	
基幹	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 1.00	3 0.33	
	無菌性髄膜炎		0 0.00	1 1.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	

★★: 流行中 ★: やや流行中 ◎: 増加 ○: やや増加 →: 変化なし ↓: やや減少 ↓↓: 減少

「流行中」 流行発生警報開始基準値以上
「やや流行中」 流行発生注意報基準値以上、又は流行発生警報開始基準値を下回った後に流行発生警報終息基準値以上

2 全数報告対象疾患: 6 例

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	50歳代	病原体遺伝子の検出	梅毒	女性	10歳代	血清抗体の検出
腸管出血性 大腸菌感染症	女性	60歳代	病原体の分離・同定 及びベロ毒素の確認		男性	40歳代	
侵襲性肺炎球菌感染症	男性	50歳代	病原体の分離・同定		男性	60歳代	
				-	-	-	-

・第32週は、結核1例(101)、腸管出血性大腸菌感染症1例(7)、侵襲性肺炎球菌感染症1例(6)、梅毒3例(47)の発生届があった。

※ ()内は2024年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第32週のコメント

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

前週よりやや減少し2.13となったが、過去10年の同時期と比べると最多で、年齢階級別の報告数は8歳が最多。区別では、稲毛区(4.67)からの報告が最多で8歳の報告が多かった。

<感染性胃腸炎>

前週よりやや減少し3.50となった。過去10年の同時期と比べるとやや多く、年齢階級別の報告数は1歳が最多。区別では、若葉区(10.50)からの報告が最多で1歳の報告が最も多かった。

<手足口病>

前週より減少し7.13となったが、流行発生警報開始基準値(5.0)を上回ったまま。過去10年の同時期と比べると多めで、年齢階級別の報告数は2歳が最多。区別では、花見川区(11.33)、稲毛区(8.33)、若葉区及び緑区(8.00)が流行発生警報開始基準値を上回り、花見川区からの報告が最多で1歳、2歳、4歳及び5歳の報告がほぼ同レベルで多かった。他に中央区(4.67)及び美浜区(3.00)が流行発生警報終息基準値(2.0)を上回った。

<ヘルパンギーナ>

前週よりやや減少し1.13となった。過去10年の同時期と比べると少なめで、年齢階級別の報告数は3歳が最多。区別では、緑区(3.00)が流行発生警報終息基準値(2.0)を上回り最多で1歳及び3歳が多かった。

<新型コロナウイルス感染症>

前週より減少し5.00となった。年齢階級別の報告数は50歳代が最多。区別では、中央区(11.25)からの報告が最多で40歳代及び50歳代の報告が最も多かった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2024.pdf>

・ 区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2024.pdf

■ トピック ■

<手足口病>

前週より減少し7.13となりましたが、依然として流行発生警報開始基準値(5.0)を上回っています。

手指の消毒の励行と排泄物の適正な処理、またタオル、ハンカチや遊具(おもちゃ等)を共有しない等の感染予防対策が大事です。

また、口腔内病変の疼痛による拒食や哺乳障害から生じる脱水、合併症等による重症化に注意することが重要です。

<腸管出血性大腸菌感染症>

2024年第31週の全国の累積届出数は1,645例で、過去10年の同時期(平均1,593.5)と比べると多めとなっています。

都道府県別では東京都(186例)が最多で、次いで大阪府(101例)、福岡県(93例)の順となっています。千葉県は61例であり、全国で9番目の多さとなっています。

千葉市では第31週と第32週に発生届が各1例あり、2024年の累積届出数は7例となりました。溶血性尿毒症症候群(Hemolytic Uremic Syndrome, HUS)の合併事例はありません。過去5年の同時期と比べると最少となっていますが、例年と同様の時期に増加しており、今後増加のペースが上がる傾向となっていることから、感染防止に注意してください(図)。

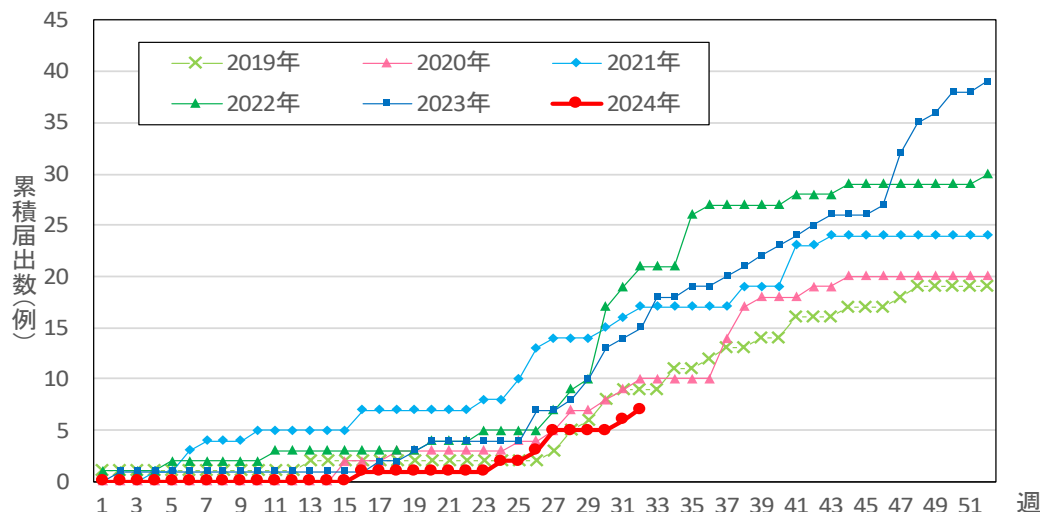


図 年別累積届出数(2019年第1週-2024年第32週 n=139)

腸管出血性大腸菌(EHEC)感染症は、ベロ毒素を産生するEHECの感染によって起こる全身性疾病です。

臨床症状は、一般的な特徴は腹痛、水様性下痢及び血便です。嘔吐や38℃台の高熱を伴うこともあります。さらにベロ毒素の作用により溶血性貧血、急性腎不全を来し、溶血性尿毒症症候群を引き起こすことがあり、小児や高齢者では痙攣、昏睡、脳症などによって致命症となることがあります。

少量の菌数(100個程度)でも感染が成立するため、人から人への経路、または人から食材・食品への経路で感染が拡大しやすくなっています。保育施設等での集団発生も多数発生しており、その予防には、手洗いの励行や簡易プール使用時における衛生管理が重要です。

EHEC感染症の感染予防のためには、食中毒予防の基本を守り、生肉または加熱不十分な食肉等を食べないようにしましょう。また、二次感染を防ぐため、排便後、食事の前、下痢をしている子どもや高齢者の排泄物の処理をした後等は、せっけんと流水(汲み置きでない水)で十分に手洗いをしましょう。

以下のURLをご参照ください。

「腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう」

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/kenkokikikanri/o157.html>

千葉市では7月9日に食中毒警報を発令しています。

例年夏季は気温が高くなり、細菌の活動が活発となって、細菌を原因とする食中毒が多く発生しています。特に近年はこれまでにない暑さが続くことや、これから会食の機会が増える時期であることから、食中毒の発生防止に一層の注意が必要になります。

EHEC感染症の他、黄色ブドウ球菌やカンピロバクターなどの細菌を原因とする食中毒を予防するためには、予防の基本「付けない、増やさない、やっつける」を守りましょう。

以下のURLをご参照ください。

「食中毒警報を発令しました」

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/seikatsueisei/keihou.html>